

全がん連×J-SUPPORT×SaQRA 開発マップ



J-SUPPORTでは、効率的な研究開発を進めるために、重要臨床課題に応じた「開発マップ」を作成・公開しています。開発戦略マップは日本国内で実施されている主要な臨床試験を俯瞰するとともに、重複が生じることがないように新たな臨床試験を計画するために利用します。

開発マップには各臨床課題に対するガイドラインの有無とJ-SUPPORTで行っている臨床試験の内容を掲載しています。J-SUPPORTではどのような臨床試験を計画・実施しているのかをご覧ください。

方法

全国がん患者団体連合会(全がん連)サバイバーシップ委員会による調査(※)の27項目について、J-SUPPORT承認試験および日本医療研究開発機構(AMED)などの公的研究機関による研究の実施状況、日本と海外のガイドラインの有無について情報を収集しました。

調査結果と収集した情報を元に、全がん連PPI委員会とJ-SUPPORT開発マップ作成委員会、SaQRA(※2)が議論を重ね、J-SUPPORT執行委員会の承認を経て、開発マップを作成しました。

※サバイバーシップ委員会による調査

全がん連サバイバーシップ委員会が、サバイバーシップに関するアンケート調査を実施しました。結果の説明はJ-SUPPORTホームページにて公開しています。

(第4回J-SUPPORT研究成果報告会 セッション②:全がん連サバイバーシップニーズ調査報告 私たちが考える“がんサバイバーシップ” 発表者:川相 一郎(がんと共に生きる会))

https://www.j-support.org/events/meeting/4th_seikahoukoku/index.html

がん患者・ご家族・ご遺族など様々な立場の方を対象として、アメリカNCCNの「サバイバーシップ・ガイドライン」を参考に作成した27項目について、困ったことを選択するよう求めました。

※2 SaQRA (日本がんサバイバーシップ研究グループ) <https://saqra.jp/>

用語の説明

介入・調査の内容: アウトカムに対して解決する手段、検討が求められる課題

J-SUPPORT承認研究: J-SUPPORTで実施・支援している研究(一覧はコチラ)

AMED他: 臨床試験登録データベースとAMED/厚生労働省科学研究費データを元に、J-SUPPORT以外の研究グループで実施されている国内臨床試験を掲載しています。

研究の対象: 被験者のがん種、世代、背景を記しています。

研究の種類: 観察研究、介入研究、基礎研究、探索研究といった研究の種類や、研究方法開発を目指した研究について記しています。

日本のガイドライン: SaQRAのガイドラインCQレビューより、アウトカムを基準に記載しています。

海外のガイドライン: NCCN Survivorship guideline 2022 目次、NCCN Clinical Oncology Guidelines (Survivorshipのほか)、NCCN Clinical Oncology Guidelines for Patients を元に記載しています。

※ガイドラインはアウトカムに沿って記載

J-SUPPORT承認試験 およびAMED他 の両方に「—」が記載されている項目は、マップ作成時点で研究がなされていない項目で、今後の研究が望まれています。

開発マップをご覧ください際のご注意

本ページで掲載している開発マップは、J-SUPPORTの各領域別研究グループで臨床試験を効率的に計画するための概念図であり、重要臨床課題は網羅性を担保するものではなく、示されている治療や臨床試験が個々の患者さんの治療選択の際の目安とはならないことにご注意ください。

このページで紹介している研究は、最新ではない場合があります。J-SUPPORTで支援中の研究については「承認研究の一覧」をご参照ください。

※これらの情報は、臨床試験に参加する患者さんを募集するための情報ではありませんのでご注意ください。

また、開発戦略マップでご紹介している、他組織の臨床試験の内容についてのお問い合わせ等はお受けすることが出来ませんのでご了承ください。

全がん連調査 27項目をアウトカムとしてとらえたカテゴリ名(困り順に掲載)

1. 気持ちのつらさ ※公的研究費で運営された研究を掲載しています。

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他※ (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン (SaQRAのガイドラインCQレビューより) ※ガイドラインはアウトカムに沿って記載	海外のガイドライン *1 NCCN Survivorship guideline 2022 目次 *2 NCCN Clinical Oncology Guidelines (Survivorshipのほか) *3 NCCN Clinical Oncology Guidelines for Patients
			がん種	世代	背景			
自殺数の調査	1902 全国がん登録を用いた がん患者の自殺に関する記述疫学的研究【自殺】	—	すべて	全世代	診断後 1-24か月	観察	(2024年予定) JPOS/JASCC 気持ちのつらさガイドライン	Anxiety, Depression, Trauma, and Distress *1
認知行動療法	1703 乳がん患者の再発不安・恐怖に対するスマートフォン問題解決療法および 行動活性化療法の有効性: 照作為割付比較試験【再発恐怖】 2001 がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究: 革新的試験システムを用いた多相最適化戦略試験【抑うつ】	—	乳がん	20-49歳	術後1年以降	介入	関連CQを5つ以上含む主なガイドライン (気持ちのつらさ) ・がんのリハビリテーション診療ガイドライン ・がん医療における患者-医療者間のコミュニケーションガイドライン ・終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン	Distress Management *2 Distress Management - Distress During Cancer Care *3
			すべて	20歳以上	予後6か月以上	介入		
ピアサポート	—	—						

2. 身体活動の維持

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン	
			がん種	世代	背景				
リハビリテーション	—	—	外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究	消化器がん 呼吸器がん 頭頸部がん 乳がん	20歳以上	外来	プログラム 開発(単群 前後比較)	がんのリハビリテーション診療ガイドライン ・形成外科診療ガイドライン-頭頸部再建診療ガイドライン 編一 ・嚥下障害診療ガイドライン	Physical Activity *1 Survivorship Care for Healthy Living *3
			悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立(栄養と運動療法介入の有効性検証)	肺がん	高齢者	外来	介入		
			高齢者進行非小細胞肺癌/膵がんに対する早期栄養・運動介入とアナモレリン塩酸塩の併用療法の多施設共同ランダム化第二相試験	肺がん 膵がん	高齢者	外来	介入		
			食道癌術後患者を対象とした外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究	食道癌	20歳以上	胸部食道癌 術後	介入		
			緩和ケア病棟入院中のがん患者に対するリハビリテーションの有効性検証ならびに普及実装に向けた研究	終末期がん	20歳以上	入院中	介入		
アプリを活用した在宅の高強度インターバルトレーニングが乳がんサバイバーの倦怠感に与える影響: 多施設共同ランダム化比較試験	乳がん	20歳以上	初期治療 終了	介入					

3. 倦怠感

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
運動療法	—	—	乳がん	20歳以上	初期治療 終了	介入	がんのリハビリテーション診療ガイドライン	Fatigue *1 Cancer-Related Fatigue *2
認知行動療法	—	—	肺がん	高齢者	外来	介入		
その他(VR, 薬の変更)	—	—						

4. コミュニケーション

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
意向調査	1601 今後の見通しについての医師からの望ましい説明に関する研究【患者の不信任感】	—	乳がん		術後1年以降	介入	JPOS/JASCCコミュニケーションガイドライン2022 ・がん医療における患者-医療者間のコミュニケーションガイドライン	
意思決定支援	1704 膵臓がん患者・家族と医師の協働による価値観を尊重した意思決定を促進するコミュニケーション介入プログラムの臨床的有用性を検証する無作為比較試験【医師の共感行動】	—	膵がん	20歳以上	PS0-1	介入		
IT、デジタル、GA意思決定支援	2101 高齢進行・再発がん患者のニーズに即した治療選択・継続のためのアプリケーションを活用した高齢者機能評価とマネジメント強化による支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	消化器がん	高齢者		介入		
IT、デジタル、意思決定支援	2104 進行がん患者に対するモバイル端末による質問支援を用いた意思決定支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	すべて	20歳以上	PS0-2	介入		

5. 栄養

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
栄養	—	悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立(栄養と運動療法介入の有効性検証)	肺がん 膵がん	高齢者	外来	介入	・嚥下障害診療ガイドライン	Nutrition and Weight Management *1
体重の維持・管理	—	—						
食事管理	—	—						
がん悪液質改善	—	ヒトがん悪液質を反映する独自樹立悪液質モデルを用いての悪液質の本態解明、ならびに創薬、診断に有用な「がん悪液質PDXモデル」の確立とその活用(2022-2024 上園保仁)	肺がん 中皮腫 他			基礎		

6. 情報(相談支援、情報提供)

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
相談・支援	—	—					・ガイドライン該当なし	
情報提供(治療・制度)の有効性を検証	—	—						

7. 医療の意思決定

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
意思決定支援	1704 膵臓がん患者・家族と医師の協働による価値観を尊重した意思決定を促進するコミュニケーション介入プログラム臨床的有用性を検証する無作為比較試験【医師の共感行動】	—	膵がん	20歳以上	PS0-1	介入	・神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン	
	—	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援(SAQLA study)	乳がん	20歳以上	再建術後	探索		
IT、デジタル、GA意思決定支援	2101 高齢進行・再発がん患者のニーズに即した治療選択・継続のためのアプリケーションを活用した高齢者機能評価とマネジメント強化による支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	消化器がん	高齢者	ステージⅢかⅣ PS0-2	介入		
IT、デジタル、意思決定支援	2104 進行がん患者に対するモバイル端末による質問支援を用いた意思決定支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	すべて	20歳以上	PS0-2	介入		
パシエント・エンパワメント	—	—						

8. 痛み

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
神経障害性疼痛	—	がん患者の難治性神経障害性疼痛へのエビデンスに基づく標準的薬物療法の開発	すべて	20歳以上	難治性神経障害性疼痛を有する	介入	(痛み) ・がんのリハビリテーション診療ガイドライン	Pain *1 Adult Cancer Pain *2
			すべて	20歳以上	難治性神経障害性疼痛を有する	介入	・がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン ・がん薬物療法に伴う末梢神経障害マネジメントの手引き	
骨転移	1903 有痛性骨転移に対する緩和的動脈塞栓術の即時的有効性及び安全性検証試験【痛み】	—	有痛性骨転移 がん	20歳以上	疼痛スケール5以上	介入	・骨転移診療ガイドライン	
簡便な評価方法の開発	—	—						

9. 再発の早期発見と二次がん予防

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
二次がん再発予防のための受診	—	—					・(各疾患)治療ガイドライン ・小児がん診療ガイドライン	Survivorship Care for Cancer-Related Late and Long-Term Effects *3
気持ちのつらさ・不安軽減	—	—						
フォローアップ	—	—						

10.お金

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
経済毒性	—	—					・ガイドライン該当なし	

11.ケアコーディネーション(格差を含む)

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
ケアの協調、調整	1901 精神科臨床場面における多職種協働によるがん検診の受診推奨法の実施可能性に関する非対照、非盲検の探索的臨床研究【検診受診】 2101 高齢進行・再発がん患者のニーズに即した治療選択・継続のためのアプリケーションを活用した高齢者機能評価とマネジメント強化による支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	—	40歳以上	統合失調症	介入	・ガイドライン該当なし	
医師の連携	—	—	消化器がん	高齢者	ステージⅢかⅣ PSO-2	介入		
多職種連携	1603 進行がん患者に対するスクリーニングを組み合わせた看護師主導による治療早期からの専門的緩和ケア介入プログラムの臨床的有用性を検証する無作為化比較試験【患者のQOL】	—						
多様性(LGBTQ・精神疾患など)への配慮	1901 精神科臨床場面における多職種協働によるがん検診の受診推奨法の実施可能性に関する非対照、非盲検の探索的臨床研究【検診受診】	—						

12.睡眠障害

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
	—	—					・ガイドライン該当なし	Sleep Disorders *1

13.就学・就労

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
	—	—					・脳腫瘍ガイドライン/小児脳腫瘍編	Employment and Return to Work *1

14.後遺症・副作用

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン	
			がん種	世代	背景				
支持療法	1602 頭頸部がん放射線治療患者に発生する放射線皮膚炎に対する通常処置とステロイド外用薬を加えた処置に関するランダム化第3相比較試験	—	頭頸部がん	20歳以上 80歳以下	PSO-1	介入	(支持療法) ・終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン ・肺癌診療ガイドライン ・腹膜播種診療ガイドライン		
	2002 頭頸部悪性腫瘍切除・遊離組織移植術の手術前ステロイド投与の有効性を検証する多施設共同二重盲検無作為化比較試験	—	頭頸部癌	20歳以上 80歳以下	手術予定	介入			
	—	支持/緩和治療領域研究の方法論確立に関する研究	非該当	非該当	非該当	研究方法開発			
	—	子宮頸癌根治術後再発高リスク患者に対する強度変調放射線治療(IMRT)を用いた低毒性補助療法の確立に向けての研究(JCOG1402)	—	子宮頸	20歳以上	ステージⅠ B1-ⅡB			介入
	—	包括的がんゲノムプロファイリング検査を受ける患者の苦痛緩和支援プログラム開発に向けた観察研究	—	すべて	18歳以上	ゲノム検査を 予定			観察
—	マルチステークホルダーを擁する支持療法・緩和治療領域における研究手法の標準化に関する研究	—	非該当	非該当	非該当	研究方法開発			
止血	—	JROSG試験17-3 出血を伴う胃がんへの緩和的放射線治療の有用性を調べる他施設前向き観察研究	胃癌	20歳以上	原発巣からの 出血	観察		Gastric Cancer. 2022 Mar;25(2):411-421.	
がん免疫	—	—							
腫瘍学	—	—							
Oncology emergency	—	—							

漢方	—	がん患者のせん妄発症を予防する抑肝散、および口腔粘膜炎の早期治療に資する半夏瀉心湯のメタボローム解析によるレスポンダーバイオマーカーの開発ならびに「証」の可視化とその臨床応用(2021-2023 上園保仁)	頭頸部	20歳以上	放射線療法を受ける患者	1)観察 2)介入	(参考)がんサポーターケアのための漢方活用ガイド(日本サポーターケア学会漢方部会編)	なし
妊孕性	—	小児・AYA世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化に向けた臨床研究	初発・初期乳がん	20-39歳	妊孕性温存に関する意思決定	介入	(妊孕性) ・子宮がん治療ガイドライン ・妊孕性温存に関する診療ガイドライン ・乳がん患者の妊娠・出産と生殖医療に関するガイドライン ・卵巣・卵管・腹膜がん治療ガイドライン	
Onco-nephrology	—	—	—	—	—	—	—	—
悪心・嘔吐	1604 シスプラチンを含む高度催吐性化学療法による化学療法誘発性悪心・嘔吐の予防に対する標準制吐療法+オランザピン5mgの有効性・安全性を検証する二重盲検プラセボ対照第3相ランダム化比較試験	—	すべて	20~75歳	シスプラチン化学療法	介入	(悪心・嘔吐) ・制吐薬適正使用ガイドライン	
	—	高度催吐性リスクのがん化学療法におけるDEX(steroid)sparingに関する研究	すべて	20歳以上	シスプラチン投与予定	介入		
	—	シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果—プラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験	子宮頸・子宮体	20歳以上	シスプラチン投与予定	介入		
	—	支持/緩和治療領域臨床試験に関する各分野における方法論確立に関する研究	非該当	非該当	非該当	研究方法開発		
リンパ浮腫	—	—	—	—	—	—	(リンパ浮腫) ・がんのリハビリテーション診療ガイドライン ・リンパ浮腫診療ガイドライン	Lymphedema *1
手足症候群・皮膚障害	1701 マルチキナーゼ阻害薬の手足症候群に対するハイドロコロイドドレッシング使用による予防効果の検討	—	大腸がん・消化管間質腫瘍・肝細胞がん患者	20歳以上	マルチキナーゼ阻害剤使用	介入	(手足症候群・皮膚障害) ・がん治療におけるアピアランスケアガイドライン ・頭頸部診療ガイドライン ・形成外科(頭頸部再建診療ガイドライン)	
粘膜炎	—	支持/緩和治療領域臨床試験に関する各分野における方法論確立に関する研究	非該当	非該当	非該当	研究方法開発		
神経障害	—	—	—	—	—	—		
しびれ	—	—	—	—	—	—		がん薬物療法に伴う末梢神経障害マネジメントの手引き
好中球減少	—	—	—	—	—	—		
便秘・下痢	—	—	—	—	—	—		
ストーマ	—	—	—	—	—	—		
肺炎炎,呼吸苦	2201 進行がん患者の呼吸困難に対する2次治療としてのミダゾラムの有効性を探索する実施可能性プラセボ対照ランダム化比較試験【呼吸困難】	—	進行がん	18歳以上	積極的な抗がん剤治療を受けていない	介入		
	—	支持/緩和治療領域臨床試験に関する各分野における方法論確立に関する研究	非該当	非該当	非該当	研究方法開発		

15.アピアランス

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
アピアランスケア	—	分子標的治療薬によるご瘡様皮膚炎に対する標準的ケア方法の確立に関する研究	肺・大腸	20歳以上	EGFR阻害薬治療患者	介入	がん治療におけるアピアランスケアガイドライン	

16.ホルモン療法に伴う症状(更年期障害)

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
ホルモン関連症状(ホットフラッシュ)	—	—					子宮頸がん治療ガイドライン	Hormone-Related Symptoms *1 Hot Flashes and Night Sweats (PDQ®)

17.心毒性

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
腫瘍循環器医療	—	オミックス解析に基づく乳がん患者における化学療法による心毒性発症機序の解明と危険因子の探索	乳癌	20歳以上	薬剤性心筋症発症リスク	観察研究		
治療薬の併用による影響	—	免疫チェックポイント阻害薬の安全な使用に資するirAE心筋障害スクリーニング手法と危険因子の探索研究	すべて	特定しない	心筋炎発症した	観察	ガイドライン該当なし	Cardiovascular Disease Risk Assessment, Anthracycline-Induced Cardiac Toxicity *1

18.家族・遺族のQOL

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
家族のケア	—	がん患者の家族・遺族に対する効果的な精神心理的支援法の開発研究(厚労科研)	すべて	20歳以上	家族	ガイドライン作成・観察	JPOS/JASCC遺族ガイドライン2022 (家族のケア) ・ガイドライン該当なし	
			すべて	19歳以上	家族	観察		
グリーフケア	—	がん患者の家族・遺族に対する効果的な精神心理的支援法の開発研究(厚労科研)	すべて	20歳以上	遺族	ガイドライン作成・観察	(グリーフケア) ・終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン ・遺族ケアガイドライン	
			すべて	19歳以上	遺族	観察		

*1 患者体験調査報告書(平成30年度調査)「家族の代理回答率は21%、質問30-2「がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う」47.7%、質問19「経済負担への対応」収入を増やすため、家族が仕事を増やした、あるいは働くようになった」1.8%
 **「患者さまが受け取られた医療に関するご調査報告書2018-2019年度調査」家族と医師間で心肺停止時の蘇生処置について話し合いがあった56.1% 家族の介護負担感(全体、身体、社会、精神、経済) 33-46% 家族の抑うつ19%、強い悲嘆30%

19.認知機能障害(ケモブレインを含む)

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
認知症・せん妄	1605 がん患者の両手術期精神症状に対する抑肝散の効果に対するランダム化比較試験【せん妄】 2103 せん妄ハイリスクがん患者の術後せん妄予防におけるラメルテオンの有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検化プラセボ対照ランダム化比較試験【せん妄】	—	切除可能腫瘍	20歳以上	6時間以上の手術	探索	JPOS/JASCCせん妄ガイドライン2022 (認知機能障害) ・がんのリハビリテーション診療ガイドライン	Cognitive Function *1
			問わない	65歳以上	全身麻酔手術と5日以上の入院			
			すべて	高齢者	認知機能障害併存			
			がん患者における術後せん妄予防のプレジジョンメディシンの開発	せん妄ハイリスク患者	20歳以上			
せん妄の心的外傷	—	—						

20.情報(医師の説明)

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
セカンドオピニオン	—	—				JPOS/JASCCせん妄ガイドライン2022 (医師のCS1) ・コミュニケーションガイドライン ・終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン	Cognitive Function *1	

21.ワクチン接種

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
ワクチン	—	—						
コロナワクチン	—	—	該当しない	20歳以上	特定されない	観察	(免疫・感染予防)小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン (1項目のみ)乳癌診療ガイドライン:ワクチン接種の推奨	Immunizations and Infections *1

22.遺伝相談、ゲノム情報

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
遺伝相談、ゲノム情報	—	—	すべて	18歳以上	ゲノム検査を予定	観察	・HBOC診療ガイドライン ・小児・思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン ・肺癌診療ガイドライン	Genetic/Familial High-Risk Assessment (Colorectal, Breast, Ovarian, Pancreatic) *2

23.口腔ケア(適切な口腔ケアを行うことにより、がん治療を円滑に遂行することができる)

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	患者の背景			
口腔ケア	—	—	口腔粘膜炎 高リスク 化学療法を受ける患者	20歳以上	特定されない	基礎	※(参考)がん治療に伴う粘膜障害マネジメントの手引き ・形成外科(頭頸部再建)診療ガイドライン ・口腔癌診療ガイドライン	
			がん化学療法に伴う口腔粘膜炎の疼痛緩和・発症制御を目指す新規口腔粘膜保護材の開発→保護材開発のプレスリリース@岡山大学			基礎		

24.ACP/人生会議

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
意思決定支援	1704 臓器がん患者・家族と医師の協働による価値観を尊重した意思決定を促進するコミュニケーション介入プログラム臨床的有用性を検証する無作為比較試験【医師の共感行動】	—	膵がん	20歳以上	PS0-1	介入		
コミュニケーション、IT、デジタル、GA意思決定支援	2101 高齢進行・再発がん患者のニーズに即した治療選択・継続のためのアプリケーションを活用した高齢者機能評価とマネジメント強化による支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	消化器がん	高齢者	ステージⅢかⅣ PS0-2	介入	・コミュニケーションガイドライン ・終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン	
コミュニケーション、IT、デジタル、意思決定支援	2104 進行がん患者に対するモバイル端末による質問支援を用いた意思決定支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	すべて	20歳以上	PS0-2	介入		

25.性機能障害の評価、ケア、治療

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
性機能	—	—					(婦人科癌排泄リハや妊孕性温存とは区別) 前立腺癌診療ガイドライン	Sexual Function *1

26.節酒

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
節酒	—	—					※(参考)科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究 ・食道癌、子宮頸がんの診療ガイドラインに1~2個CQ	

27.禁煙

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	背景			
禁煙	—	—					・食道癌、子宮頸がん、腎癌の診療ガイドラインに1~2個CQ	Smoking Cessation *2

その他

介入・調査の内容	J-SUPPORT承認試験 (赤字は成果論文公開済み)	AMED 他 (赤字は成果論文公開済み)	この研究の対象は			研究の種類	日本のガイドライン	海外のガイドライン
			がん種	世代	患者の背景			
Patient-reported Outcome (PRO)	—	—	すべて	20歳以上	特定されない	尺度開発		
eConsent	—	—	非該当	非該当	非該当	研究方法開発		
デジタルヘルス	1703 乳がん患者の再発不安・恐怖に対するスマートフォン問題解決療法および行動活性化療法の有効性:無作為割付比較試験【再発恐怖】 2001 がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究:革新的試験システムを用いた多相最適化戦略試験【抑うつ】	—	乳がん	20-49歳	術後1年以降	介入		
職域介入	2102 中小事業所における事業主および健康管理担当者による喫煙対策を支援する介入の有効性評価:クラスターランダム比較試験【禁煙】	—	すべて	20歳以上	予後6か月以上	介入		
健康格差	1901 精神科臨床場面における多職種協働によるがん検診の受診推奨法の実施可能性に関する非対照、非盲検の探索的臨床研究【検診受診】	—	すべて	20歳以上	PS0-2	介入		
検診	1901 精神科臨床場面における多職種協働によるがん検診の受診推奨法の実施可能性に関する非対照、非盲検の探索的臨床研究【検診受診】	—	すべて	20歳以上	PS0-2	介入		
医療の質評価	1702 医療ビッグデータを用いた緩和医療の質評価および臨床課題の疫学調査方法の開発と測定【調査方法】	—	すべて	すべて	がん死亡者	観察		
老年医学・高齢者のがん治療	2101 高齢進行・再発がん患者のニーズに即した治療選択・継続のためのアプリケーションを活用した高齢者機能評価とマネジメント強化による支援プログラム開発【医師の共感行動】	—	消化器がん	高齢者	ステージⅢかⅣ PS0-2	介入		
	—	—	肺がん	高齢者	切除不能	介入		
	—	—	肺がん、すい臓がん	高齢者	進行	介入		
	—	—	胃癌	高齢者	StageII/III	介入		
小児・AYA	—	—						